

今年度(研究2年目)の実践活動は・・・

学んだことを御嵩町活性化に役立て、専門性を高めコミュニケーション能力を付けスペシャリストを目指します。将来地域で活躍できる力をつけます。

○御嵩町を知ってもらおう！

- ・御嵩町に伝わる民話と御嵩町の食材活用を研究し、広めました。
- ・皇女和宮降嫁150年にちなんだお菓子を考案し、あずさCaféで提供しました。
- ・民話は影絵にして、子育て支援活動in東実・多世代交流会で発表しました。



あずさCafé 和宮パイ

○御嵩町で活動しよう！

- ・介護予防体操を見直し、世代を問わずできる介護予防ふれあい体操を作り、産業祭や多世代交流会で発表し、普及に努めました。
- ・伏見地区の高齢者と伏見保育園児を学校に招き、多世代交流会を開催しました。

○御嵩町の人と協力して活性化を進めよう！

- ・宿の市に参加し、ファッションショーやワークショップを行いました。
- ・昨年に引き続き、あずさCaféを開きました。
- ・御嵩町まちづくり課、名鉄広見線活性化協議会と連携し、4類型合同で御嶽宿で11月3日にあずさフェスタを開催しました。(協力:みたけ華ずしの会、みたけ庵)
内容:ファッションショー・ワークショップ・介護予防ふれあい体操、あずさCafé
- ・昨年度の成果である「やまいもん大福」は御嵩町の和菓子店の協力を得てかも1グランプリやあずさCaféで販売し、普及に努めました。



やまいもん大福

実践の成果と課題は・・・

○御嵩町を知ってもらおう！

- ◇御嵩町の民話を影絵にして上演することにより、地域に伝わる古い話にも興味を持っていただくことができました。

○御嵩町で活動しよう！

- ◇介護予防ふれあい体操は多世代交流会や商工会主催の産業祭で発表し、多くの方と一緒に体操することができました。
- ◇多世代交流会は、伏見地区の多くの方々に参加していただくことができ、私たちの学習成果を伝えるよい機会となりました。



あずさフェスタ
介護予防ふれあい体操

○御嵩町の人と協力して活性化を進めよう！

- ◇あずさフェスタは来場者の方から「高校生が活性化のために役立っている」、「御嶽宿を再認識できた」と好評でした。
- ◇宿の市参加やあずさCafé開催は2年目なので期待していただく方もあり、活動が定着してきました。今後も続けていきたいです。
- ◆あずさフェスタでは、来場者で一杯というわけにはいきませんでした。活動の定着や広報のしかたを研究する必要性を感じました。
- ◆今後はもっと多くの他団体と連携して行事を企画・運営できるとよいと思います。



多世代交流会



みたけ庵と共同開発した和宮弁当

実践活動をとおして学んだことは・・・

- ・活動に参加して、自分たちの通っている郷土の歴史と文化が分かり、それを多くの人に知っていただくために活動することの大切さに気づきました。
- ・活動を始めた当初は多くの人と接することや喜んでいただけたことに喜びを感じましたが、活動を進めていくに従って学んだことを生かしたことや、学んだことをわかっていたことに対しての喜びに変わってきました。
- ・活動を通してイベントなどを企画する力、協力してイベントを実践する力、類型の専門性を生かす力が身に付きました。
- ・これからもっと専門的な学習をすすめ、身に付けた専門知識や技術を地域のために生かしていきたいと思っています。